

鳥取県西部医師会 第15回 在宅医療推進委員会記録

日 時：平成30年3月16日（金）午後7時30分～

場 所：鳥取県西部医師会館3階講堂

在宅医療推進委員会（順不同、敬称略）

【西部医師会】委員長：野坂美仁、根津 勝、小林 哲、安達敏明、辻田哲朗、實意規嗣、細田明秀、都田裕之、越智 寛、市場美帆、仲村広毅、田辺嘉直、野坂康雄、飛田義信、三上真顯、佐伯俊哉、佐々木修治、木科 学、阿部博章

【米子医療センター】杉谷 篤【博愛病院】櫃田 豊【真誠会】春日正隆、小山雅美

【西伯病院】陶山和子【日南病院】高見 徹【養和病院】廣江ゆう

【鳥取大学医学部】谷口晋一、木村公恵、河村香苗、秦野秀雄

【鳥取県】医療政策課：中川善博、木原直樹、西部福祉保健局：瀬尾厚子

【米子市】長寿社会課：奥谷 剛、小椋善文

【西部歯科医師会】足立 融【薬剤師会西部支部】都田修史、川島雅弘

【帝人ファーマ(株)】桶谷純平、河野洋充【(株)カミナリ】松田菜美

1. 開会（野坂委員長）

2. 第14回在宅医療推進委員会の報告

- ・前回の委員会議事概要と、以降の委員会活動及び関連事業の概要説明、報告。

3. 第14回在宅医療推進委員会以降の動き

1) 平成28年度 介護保険関係対策事業及び

在宅医療推進委員会（鳥取県地域医療介護総合確保基金（医療））について

- ・介護保険事業
- ・主治医研修事業：主治医研修会
- ・認知症早期発見・医療体制整備事業
- ・西部在宅ケア研究会
- ・在宅医療推進委員会 http://www.seibu.tottori.med.or.jp/isikai/zaitaku/0_home.html
講演会・フォーラムを実施。
「もしもの時のあんしん手帳」配布。
- ・平成28年度 鳥取県西部地区医療連携協議会（鳥大医学部）
医療連携の現状と課題 ～患者さんのためのより良い連携を目指して～
- ・医療・介護情報の連携体制構築事業（西部総合事務所福祉保健局）
医療・介護情報の連携体制の構築に係る「調整会議」

2) 平成29年度 介護保険関係対策事業及び

在宅医療推進委員会（鳥取県地域医療介護総合確保基金（医療））について

・介護保険事業

介護保険委員会（平成29年6月6日（火））

主治医研修事業：主治医研修会

第1回（平成29年7月12日（水）午後7時～午後9時）参加者：158名
（第60回西部在宅ケア研究会併催）

第2回（平成29年11月29日（水）午後7時～午後9時）参加者：15名

・認知症早期発見・医療体制整備事業

かかりつけ医認知症対応力向上研修事業：認知症医療連携研修会

第1回（平成29年6月16日（金）午後7時～午後9時）

第2回（平成29年10月19日（木）午後7時～午後9時）

第3回（平成29年12月7日（木）午後7時～午後9時）

・西部在宅ケア研究会

ホームページを移転<http://www.seibu.tottori.med.or.jp/isikai/care/index.html>

西部在宅ケア研究会世話人会開催（例会月以外毎月第2水曜日：午後7時～ 西部医師会館）

西部在宅ケア研究会例会（場所：ぴあべール米子）

第60回（第1回主治医研修会併催）参加者：158名

第61回（平成29年11月8日（水）午後7時～午後9時）参加者：126名

第62回（平成30年 3月14日（水）午後7時～午後9時）参加者：92名

・在宅医療推進委員会 http://www.seibu.tottori.med.or.jp/isikai/zaitaku/0_home.html

第15回 在宅医療推進委員会（平成30年3月16日（金）午後7時30分～）

講演会・フォーラム

米子市ふれあい健康フェスティバル（主催/米子市・共催/鳥取県西部医師会）

「骨と関節の日」特別講演会（平成29年10月15日（日）午後2時～午後3時30分）

在宅医療推進出前講座

①「我が家で自分らしく生き、暮らし続けるために ～在宅医療とは～」

②出前講座

③多職種向け啓発活動

④「あなたの足腰から健康寿命を延ばそう～ロコモティブシンドロームの予防～」

「もしもの時のあんしん手帳」

フォーラム・講演会・出前講座にて配布 ・西部医師会館にて随時配布

ホームページ運営 http://www.seibu.tottori.med.or.jp/isikai/zaitaku/0_home.html

西部医師会在宅医療推進委員会ホームページ－更新中

・平成29年度 鳥取県西部地区医療連携協議会（鳥大医学部）

開催日：平成30年2月18日（木）午後6時～午後8時 心不全パスを検討。

・医療・介護情報の連携体制構築事業（西部総合事務所福祉保健局）

医療・介護情報の連携体制の構築に係る「調整会議」参加者：約130名

西部医師会館（平成29年12月14日（木）午後6時～午後8時）

- ・鳥取県在宅医療推進プロモーションビデオ作成協力（制作会社：カミナリ）

在宅医療を住民の方にわかってもらえるようなDVDを作成。

- ・介護保険対策委員会（平成30年3月15日（木）14：00～鳥取県医師会館）

○在宅医療推進のため、プロジェクトを挙げているが、30年度以降に向けて更に検討する。

- ・在宅医療支援診療所届出推進
- ・かかりつけ医支援（サポート医）
- ・病院勤務医への在宅医療理解の支援
- ・在宅医療関連の多職種研修会用PPT作成
- ・在宅医療・在宅看取り講演会（出前講座）・・・実施中
- ・「もしもの時のあんしん手帳」作成・・・作成済み
- ・在宅医療推進委員会ホームページ作成・・・更新中
- ・米子市在宅医療フォーラム支援・・・実施中
- ・博愛病院在宅医療プロジェクト・・・終了
- ・鳥取大学医学部附属病院在宅医療プロジェクト・・・終了
- ・米子市モデル地区プロジェクト

東部医師会・中部医師会でも在宅医療推進事業を実施しているので、参考にして欲しい。

4. その他

○おしどりネット

鳥取県内ほとんどの病院が繋がり、相互で情報の閲覧が可能となった。今後はリアルタイムで情報交換ができるよう検討される。

○バイタルリンク（帝人ファーマ）

地区全体をまとめる登録費用として50万円（1回）。利用したい事業者（グループ）は月額7千円で何台ものiPad等と連携してリアルタイムの相互利用が出来る。（端末は自己負担）

【帝人 桶谷】介護サービス事業場と医療機関で連絡帳機能を利用して写真や文書のやりとりをする。

【三上先生】南部町では別のシステムで1例実施しているが、事前準備が大切であり、実際には見えていない人が多くある。将来的に看取りで利用できるようになれば有用である。

○今後の在宅医療推進委員会について

【中川鳥取県医療政策課長】たくさんの先生方に集まっていただき、様々な意見を出していただくことは一番良いことだと思うので、引き続きリーダーシップを発揮していただいてほしい。

【奥谷米子市長寿社会課長】医療と介護との関係が太くなれば良いと思うので、協力をお願いしたい。

【谷口鳥取大学地域医療学教授】日野病院にサテライトセンターを作らせていただいて、医学科5年生が訪問看護に付いていってもらったり、訪問診療と一緒に回ってもらって体験をしている。4年生では地域医療体験として、在宅医療の場実際に同行させている。在宅医療は医学教育の中でも今後重要に

なってくる。地域包括ケアの仕組みの力を見せる場を作るのが課題と考える。

【木科先生】在宅医療を勉強中だが、少しでも貢献したい。

【春日先生】在宅医療を半年間経験して、家に帰るということが難しいということがわかってきた。サ高住に居られる方もここにいていいのかなと思う患者も多く、老健の延長になっているように感じる。

【櫃田先生】博愛病院では訪問診療、看護、リハビリ、居宅などの多職種を集めた包括的な在宅医療を目指す在宅医療センターを立ち上げ、終末期医療を中心に動いている。最近是在宅の食事栄養指導を試みている。更に、小児の在宅医療に注目している。また、介護を実際に知らないこともあり、介護との連携が難しく今後の課題である。

【杉谷先生】米子医療センターでは、おしどりネットに参加してから参照される人も増えており、バイタルリンクのようなものも検討しないといけない。紹介や逆紹介が電子逆紹介というのが広がるのではないかと思っているので、この中で私たちができることを考えている。当院には緩和ケア病棟があり、末期の患者さんを中心に受け入れているが、担当の先生方の希望もあり、在宅に行き看取り、痛みや精神的なケアに出いけないのかを訪問看護と一緒に検討中である。そのためにもソフト、ハードのシステムを構築する必要がある。

【佐々木先生】おしどりネットでも島根まめネットのような在宅支援ツールを開発いただきたい。

【歯科医師会 足立先生】歯科医師会で連携室を立ち上げてから100件以上の依頼があり、そこへ歯科衛生士が出掛けている。また、先生方から個々に依頼を受けたりして歯科医師会員との連携も出来てきている。

【薬剤師会 都田先生】薬剤師会では個人の患者さんと、個人の医師と、という形で動いていることが多いため、このようにリンクされて様々なところで連携が図られれば良いと考える。

5. 閉会 20:45